

接続方法：

MAKACHAINネットワークを
Voltaに接続する



ステップバイステップガイド



**MAKA
CHAIN**

このガイドでは、 Makachainネットワークを Voltaウォレットに接続する手順を段階的に説明します。現時点では、このプロセスはモバイルデバイスでのみ実行可能であることにご注意ください。接続が完了すると、ウォレットから直接Makachainネットワークにアクセスして操作できるようになります。

始める前に必要なもの

[Android版Voltaウォレット](#)

または

[iOS版Voltaウォレット](#)

Makachain Voltaウォレットに接続する

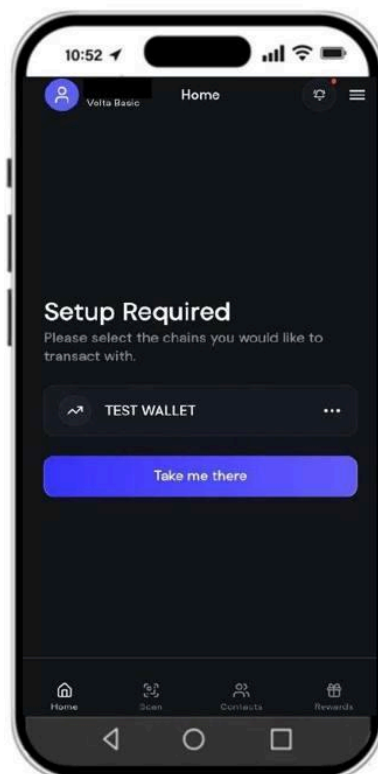
ステップ1

認証情報を使用してVoltaウォレットアカウントにログインしてください



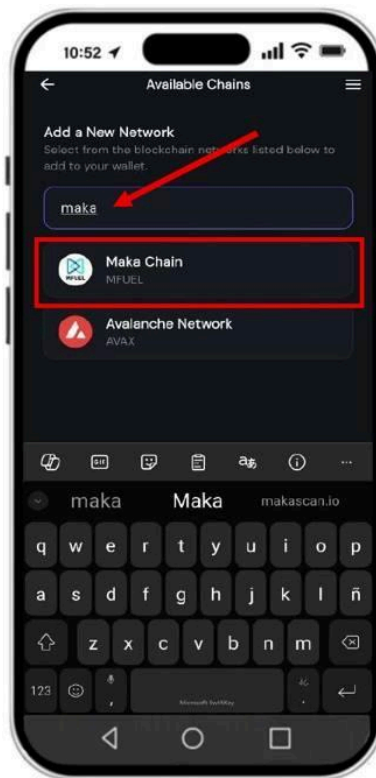
ステップ2

ログイン後、利用したいチェーンを選択し、「Take me there」ボタンをクリックしてください。



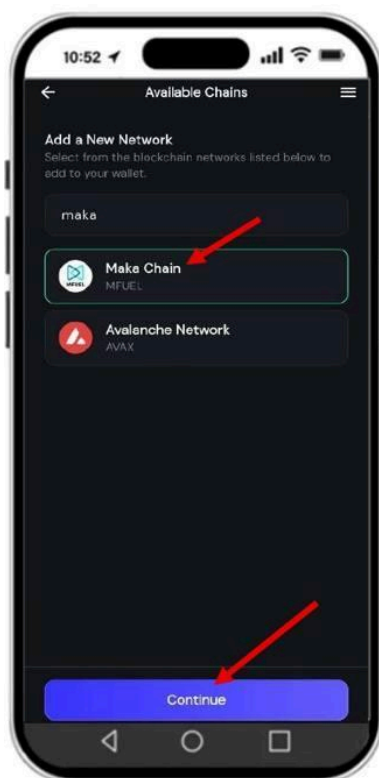
ステップ3

ブラウザのアドレスバーに**Makachain**と入力すると、そこにネットワークが表示されます。



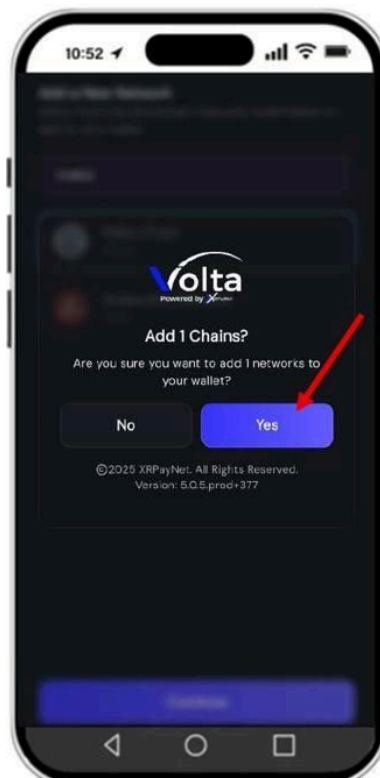
ステップ4

Makachainを選択し、「続行」をクリックします。



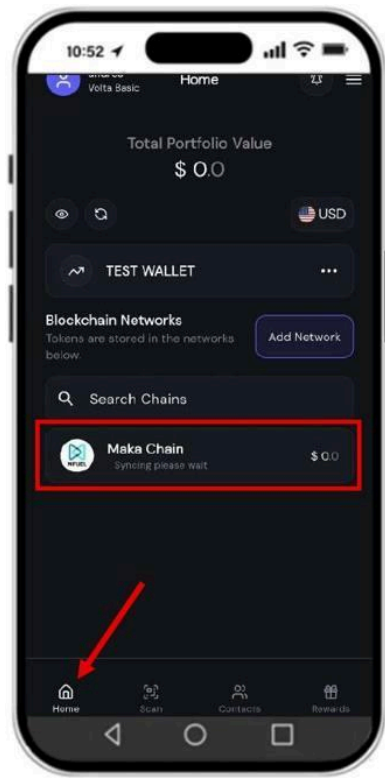
ステップ5

確認画面が表示されます。表示されたら「はい」をクリックしてください。



ステップ6

ホーム画面で、Makachainが正常に追加されたことが確認できます。



Makachainにおける取引手数料の仕組みはどうなっていますか？

Makachainでは、ネイティブトークンはMFUELと呼ばれています。このトークンは、他のブロックチェーンと同様に、取引手数料（ガス料金とも呼ばれる）の支払いに使用されます。

しかし、大きな違いはここにある。MFUELには価値が全くないのだ。

つまり、システム上はMFUELでガソリン代が請求されますが、その値は0なので、実際には何も支払う必要はありません。言い換えれば、ガソリン残高を気にすることなく取引を行うことができます。

また、MFUELを購入する必要はありません。ネットワークが必要に応じて自動的に補充してくれるので、常に十分な燃料が確保できます。

では、ガソリンが無料の場合、通信事業者はどのようにして収益を上げているのでしょうか？

答えは簡単です。取引を行うたびに、ネットワークは少額の手数料を徴収します。

送金する通貨と同じ通貨で、一律**10セント（0.10米ドル）**の手数料がかかります。

例えば：

50 USDTを送金する場合手数料として0.10ドル相当のUSDTが支払われます